

平成26年度 千葉市教育研究会社会科部会 東ブロック11月例会

千葉市教育研究会社会科部会の研究主題

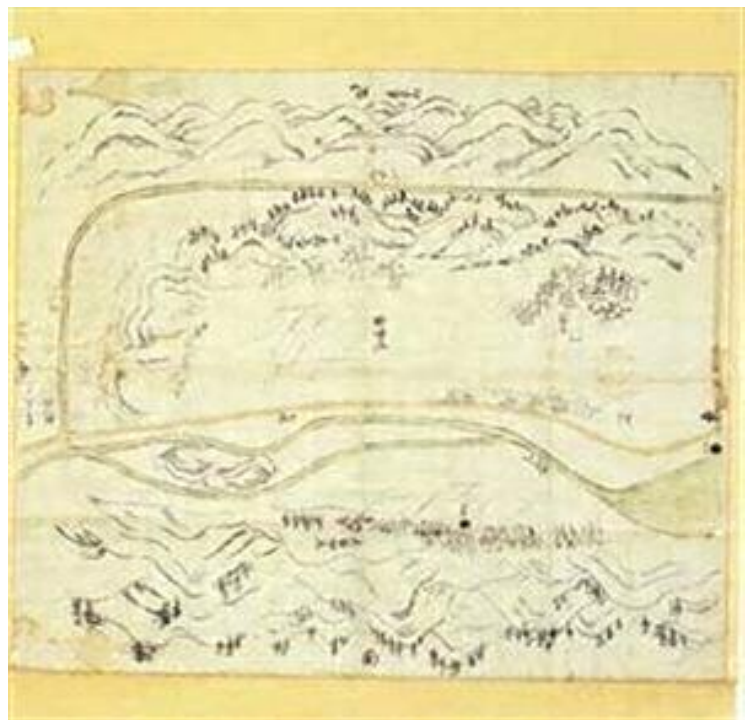
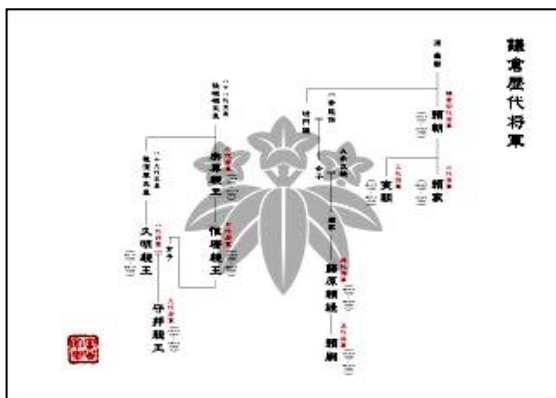
「みえる わかる・・・いかす」

よりよい社会の形成に参画する力を育てる社会科学習

千葉市立大宮中学校社会科部会の研究主題

「社会科への関心・意欲を高めるための授業づくりの工夫」

～意欲をもって学べる生徒の育成を目指して～



○日 時 平成26年11月18日(火) 14:00～16:30

○研究授業 14:00～14:50

○授業者 戸田 正彦 教諭

○協議会 15:10～

- 〈内容〉
- 1 あいさつ
 - 2 本校の研究の概要について
 - 3 授業について
 - 4 協議会
 - 5 指導・助言
 - 6 連絡・その他

千葉市立大宮中学校社会科部会

1 研究主題

【千葉市立大宮中学校研究主題】

意欲を持って学び、豊かな心で生きる生徒の育成
～ コミュニケーション能力の育成を通して ～

【社会科研究主題】

社会科への関心・意欲を高めるための授業作りへの工夫
～ 意欲を持って学べる生徒の育成を目指して ～

2 単元名

「武士の台頭と鎌倉幕府」

3 単元について（題材観）

本単元では、学習指導要領の歴史的分野の大項目「中世の日本」の前半の部分を小単元として構成したものである。中世については、古代までの貴族や寺社の勢力に変わって武士が誕生して武家政権が成立し、武士の支配が次第に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られた時代を学習する。また、その結果として諸産業の発達と農村の変化、武家政治の展開や民衆の活力を背景とした文化の展開などを理解する。

古代から中世の時代の転換期として、これまで学習をしてきた平安時代の摂関政治の中から武士が登場する土壌がつくられた。その武士によって、天皇や貴族を中心とした政治体制が崩壊し、武士を中心とした中世社会に移行するという歴史的にとっても大きな転換期となる単元である。鎌倉時代の武士とは、全ての武士が御家人となっていたわけではない。また、毎日武芸を鍛えるだけの生活をしているだけでなく、普段は農業を営み、戦があるときのみ刀を持ち甲冑を身につける武士も多くいた。ただし、地頭や守護などの役職に就き、荘園領主や国司の支配地に赴き、その土地で少しずつ力をつけていく武士も現れる時代であった。また、力をつけていく武士がいる中で、武士による土地の私有と農民の支配が広がっていった。そして、武士と領主の間で争いも起きるようになってきた。その過程での地頭と領主の間の争いを裁く基準として御成敗式目（貞永式目）が定められた。本時の学習では、武士がしていた上記のような生活、武士が少しずつ力をつけていったのか考察をさせたいと考える。

また、本単元では、千葉市学校教育の課題『21世紀を拓く』中学校社会の「①子どもたちが目標（ねらい）をもって学習活動を行うために」の項目に「生徒が意欲をもって取り組み、思考を促すことに繋がる、明確で実感のある学習課題設定の工夫に努める」とあるように、導入の段階で生徒の疑問点から、学習課題を設定していく。さらに、本校社会科部会の研究主題が「関心・意欲を高めるための授業作りの工夫」であり、課題解決の取組として、映像資料などの視覚的資料を多く用い、生徒の学習への関心・意欲を高める学習を行っている。特に、住居や食べ物、使用した道具などの映像資料を生徒が操作できるようにした。タブレットPCを使用したICT学習を取り入れることにより、社会科への関心・意欲の向上につながると考える。

4 生徒の実態アンケートから

◎ 社会科に関する学習アンケート ◎

① 社会科は好きですか。

好き（8人） どちらかと言えば好き（13人） どちらかと言えば嫌い（5人） 嫌い（1人）

② 新聞やテレビでNEWSは見ますか。

見る（11人） どちらかと言えば見る（10人） どちらかと言えば見ない（3人） 見ない（3人）

- ③ どのような形式の授業が好きですか。
- 黒板と教科書だけの授業 (18人)
- プリントを使った授業 (2人)
- テレビなどのデジタル資料を使った授業 (7人)

- ④ 歴史と聞いて思い浮かぶことを書いてください。

織田信長 歴史書 武器 はにわ 太平洋戦争 豪族 第二時世界大戦 戦争 徳川家康
 朝廷 幕府 戦国時代 馬 時代 昔の出来事 城 杉田玄白 坂本龍馬

- ⑤ 鎌倉時代と聞いて思い浮かぶことを書いてください。

初めての幕府 いざ鎌倉 源氏 源頼朝 大仏 1192 つくろう鎌倉幕府 神奈川県 源義経
 ご恩と奉公 北条氏 少し平和そう

- ⑥ 武士と聞いて思い浮かぶことを書いてください。

戦う人 天皇を守る人 刀を持ち自分の領土を広げる 刀を持って戦う 近藤勇 切腹
 織田信長 刀を持って人々を守ってる 馬 強い 黒田官兵衛

5 単元の指導計画

	学習内容と活動	評価規準
1	武士の成長 ・武士の登場 ・院政と武士	①武士が成長していった理由を、荘園と公領からなる新しい土地制度や政治の動きとの関連から考察している。(思考・判断) ②武士のおこりと成長から武家政権の成立までの経過について理解している。(知識・理解)
2	武家政権の成立 ・鎌倉幕府の始まり ・執権政治	①武士の生活や生き方に関心を持ち、意欲的に学習している。(関心・意欲) ②「北条政子の訴え」などから幕府の勢力関係、将軍と御家人の関係を考察している。(思考・判断)
3	武士と民衆の生活① (本時)	①武士の暮らしの資料から、武士の家の特徴を細かく読み取ることができる。(技能) ②鎌倉武士の特徴(普段の生活など)を理解できる。(知識・理解)
4	武士と民衆の生活② ・民主の動き	①鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達とそれに伴う生活の向上について理解している。(知識・理解)
5	鎌倉時代の文化と宗教 ・鎌倉文化 ・新しい仏教	①鎌倉時代の文化について意欲的に調べ、関心を持っている。(関心・意欲) ②鎌倉仏教が多くの人の心をとらえて広まったことを、社会の動きと関連させて考慮している。(思考・判断)

6 本時の学習

(1) 本時の学習目標

- ① 武士の暮らしの資料から、武士の家の特徴を細かく読み取ることができる。(技能)
- ② 鎌倉武士の特徴(普段の生活など)を理解できる。(知識・理解)

(2) 本時の展開(50分)

過程	時配	学習活動と内容	教師の支援	評価・資料
過程	5分	○News発表	○生徒の発表を聞いて終わりにせず、内容を深め、他の生徒らにも共有させる。	評価・資料
導入	5分	○大型テレビにでてきた資料が何か発表する。 ・ 貴族の家 ・ 寝殿造	○寝殿造の資料から本時の学習課題を把握しやすくする。	評価・資料
武士の暮らしから武士の生活を考えよう				
展開	35分	○武士の館の資料から、武士らしい部分を理由も踏まえてノートにまとめ、発表する。 ・ 掘りに囲まれている ・ 物見台の上に武器がある ・ 犬がいる ・ 猿がいる (前に出て、タブレットを使い発表) ・ 武士が、武芸の鍛錬として取り組んでいたことをノートにまとめる。 ○教科書や大型テレビにある武士の館の奥で武士は何をしているのか、武士の(中の)身分まで考え発表する。 ・ お酒を飲んでいる 宴会 ・ えらい武士 惣領 地頭 守護 ○大型テレビの資料(武士の館の引きの絵)から、武士は武芸だけやっていたの	○人だけを見るのではなく、隅から隅までよく見るよう促す。 ・ 動物 ・ 門の上 ・ 館の外 ・ 館の中 ・ 武士の家の特徴を確認しながら、武士は戦の準備と武芸の鍛錬を行っていることを理解させる。 ☆流鏝馬・笠懸・犬追物 ・ 何のために武芸の訓練をしているのかまで確認させる。 ・ 絵巻物を紹介する ○身なり(烏帽子)などからどのような身分の人たちなのか考えさせる。 ○大型テレビで武士の館のまわりの畑や田んぼに意識を向けさせ、何	タブレットPC・テレビ 評価①(技能) 評価方法(発言・ノート) タブレットPC・テレビ タブレットPC・テレビ 評価②(知識・理解) 評価方法(発言・ノート) タブレットPC・テ

展開	時配	<p>か考え発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 武士だから武芸を行っていた。 ・ 畑仕事も行っていた。 <p>学習活動と内容</p>	<p>のための畑や田んぼなのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あえて畑仕事をしているよう考えさせる。 <p>○地頭の仕事は何か生徒に確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年貢の取り立て ・ 荘園や公領の管理 <p>教師の支援</p>	<p>レビ</p> <p>タブレットPC・テレビ</p> <p>評価・資料</p>
		<p>○大型テレビ・教科書の下地中分の地図を見て、何を表しているか発表する。</p> <p>○「下地中分」から「御成敗式目」までの流れをノートにまとめる。</p>	<p>○地図の文字の意味を考えるように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二重支配の様子として「下地中分」と農民の訴えを説明する。 ・ 武士と領主の争いから「御成敗式目」ができたことを理解させる。 	
まとめ	5分	○鎌倉時代は武士の生活から、武士の力が徐々に強まっていったことを確認する。	○本時の授業の流れを改めて説明し、生徒の振り返りの支援を行う。	

(3) 評価

- ① 武士の暮らしの資料から、武士の家の特徴を細かく読み取ることができたか。(技能)
- ② 鎌倉武士の特徴(普段の生活など)を理解できたか。(知識・理解)

◎ 本時の資料 ◎



(貴族の館)



(武士の館)



(武士の館2)



(笠懸・流鏝馬)



(武士の館3)



(犬追物)



(下地中分図)

(御成敗式目)